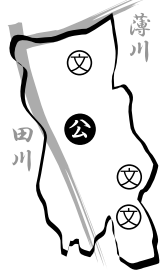


館報

庄内



庄内地区	
平成31年3月1日現在人口	
世帯数	6,891戸
男	7,373人
女	7,358人
合計	14,731人
発行 庄内地区公民館 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

公民館って何のために設置されたの？

公民館とは、社会教育法第20条に、「市町村その他一定区域内の住民のために、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する」と定められている社会教育施設です。

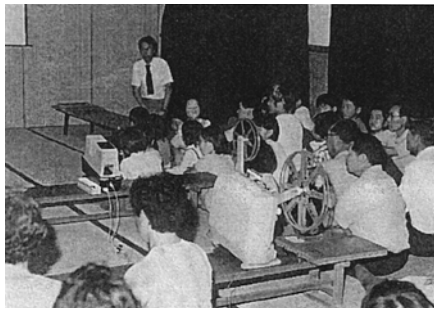
松本市には35地区全てに「地区公民館」が設置され、ほとんどの町会に「町内公民館」が設置されております。

現在、各公民館でどのような活動をしているのかは、各地区や各町会独自のカラーが色濃くできるものです。では、かつての公民館はどのような使われ方をしていたのか？

今回の館報では、公民館の昔と今の違いを紐解きつつ、もっと身近に感じられ、より大勢の皆さまにお使いいただくために、調べてみました。

町内公民館の思い出！

思い出① 「町会で企画した映画の放映が公民館で行われることとなり、父に連れられて白黒映画を観ました。沢山の人が狭い公民館内に入って、熱気がすごかった記憶があります。内容は覚えていないのですが、後で親に聞いたら、江利チエミさんの出演作品だったとか。もう55年も前の話です」



昭和32年頃行われた16ミリ映写機を用いた映画会の風景

思い出② 「もう50年程前ですが、花祭りや子どもの日等、季節に合わせて子ども会を公

民館で行いました。準備は親がしてくれましたが、その後は上級生が中心となり、下級生の面倒を見たものです。集まった小学生でお茶やお菓子をいただいで楽しみました。下級生の頃は、上級生が大人のように思え、自分がその立場になったときは、下級生の面倒を見るのが当然のことと考えておりました」

思い出③ 「公民館が共同墓地の一角にあったので、夏の夜に「お化け大会」を企画することに。当時高学年だった私は、少々やりすぎて小さい子を大泣きさせてしまいました。苦い思い出ですね。他にも年1回の子どものだけのお泊り会、夏の青山様や冬の三九郎等、何らかの行事を行うときは公民館が子ども達の集い場になっていました」

思い出④ 「公民館で冠婚葬祭が行われていました。どちらも親族だけでなく隣組や町会の皆さんが集まってきたのを覚えています。公民館の厨房にお母さん方が集い、お

料理を作ってくださいましたし、結婚式の時は大勢の方々で賑わったものです。また、お葬式の直会を自宅で行う際、公民館の食器や備品をお借りした等、色々融通をきかせていただいたものですね」



思い出⑤ 「子どもの頃、公民館が保育園代わりのことをしておりました。先生と呼ばれる人もいました。今思うと近所のお母さんだったような気もします。子育てに地域の方が関わっていたのだと思いますね。お弁当を持ってくる子がいたり、用意しても

らった給食や脱脂粉乳をいただいたりしていました。また、公民館に白黒テレビが設置され、役員の方が当番制で当時人気のあった月光仮面等の番組を見させてくれました」



昭和51年行われた乳幼児学級の写真

思い出⑥ 「新春、三九郎を終わって翌日に後片付けをした後、公民館で新年会を行いました。主催は地区PTA役員で、私はその役員をしておりました。地区の児童が集まってゲームをしたり、くじ引きをしたり、大盛り上がりです。学校よりは小規模で、仲良しのお友達同士よりは大规模で、まるで大きな家族の兄弟姉妹のように微笑ましく思えました。時にはケンカして涙もあるけれど、まあいいじゃない！ととても楽しい11年前の思い出です」

※写真は松本市公民館活動誌より

# 公民館は「集いの語り」

本市の各町会にある町内公民館では、住民が集い、語り合いながら様々な企画が実行されてきたようです。表面の

思い出以外にも、町会のバス旅行、新入学・卒業祝い、親子遠足、若妻会(?)、盆栽教室、こども映画祭、婦人学級、町内学級会、サイクリング、早朝マラソン、地区外公民館対抗野球大会、子ども文庫(移動図書館)等々、書ききれない程です。

さて、では現在とはいうと、年に一度の町会総会や敬老会などの町会行事のみ...という公民館や、わずかに残るサークル団体の利用等、町内公民館の役割も相当様変わりしてきたように感じます。

改めてかつての公民館の役割を考え直して見ますと、子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に寄り合える場所だったのではないのでしょうか。その寄り合い処で、お茶を飲み、いろんな話で盛り上がり、「じゃあ、やってみようや!」という住民が現れ、賛同する住民がさらに加わり、そのアイデアが現実のものになっていく...。そんな動きが「住

民同士の顔の見える関係」を自然と創りだしてきたのではないのでしょうか。これって住民が「ここは我が町」という気持ちで繋がる、まさに自治組織そのものではないかとは思いませんか。

近年、災害時に大切なことは? 高齢者の見守りに必要なことは? という話題が語られますが、そんな折、「顔の見える近所付き合いが大切」という声が必ず多く出されます。大切なこととは分っていても私たちは、いつの間にかその絆を繋げてきたくれた公民館から遠ざかってしまっていないませんか?

## 町内公民館と地区公民館 皆やらのやりだいを一緒にカタチにしませんか!

庄内地区公民館(ゆめひろば庄内)では、様々なサークルが毎日利用しています。その利用率も市内でも相当高いようです。しかし意外と庄内在住の方の利用度が低いのも事実です。と同時に「公民館」IIサークルの場・貸館」というスタイルになりつつあるように思えます。前項にも記載しましたが、公民館とは、住民が「集い」、「語り合う」交流の場であり、意見交換や議

論を通じて「何かが生まれる場所」だったはずですが、もつと「こんなこと始めてみたい!」と積極的な声を、地区公民館へ投げかけてほしいと思っております。

もちろん町内公民館の活用頻度も上げていく必要はありません。皆さんのお住まいの最も近くにあつて気軽に集える場所だからです。同時に、失いかけていく町内公民館の役目をカバーするためにも、地区公民館が貸館業務に終始するのではなく、「集いの場所」、「住民が繋がる場所」、「何かが生まれる場所」でなくてはならないと思います。

是非、ワクワクするような提案を庄内地区公民館スタッフに持ち込んでみませんか。あなたの提案や思いを実現できるように公民館もお手伝いします。

### お知らせ

庄内地区ホームページ「庄内玉手箱」のQRコードを作成しました



# フードバンク(庄内)の活動がますます

庄内地区ボランティアの会が、今年度は3つの班を作つて活動しています。その1つに、「フードバンク班」があります。

フードバンク班は、並柳団地で行われている子ども居場所事業「なみカフェ」への食材支援を目的としています。

9月より、毎週火曜日の午前中、庄内地区公民館において提供品を受け付けています。ありがたいことに、現在までお米や野菜、保存のきく缶詰類等多くの食材が寄せられています。いただいた食材はなみカフェで調理され、子どもたちの笑顔へ変わります。

公民館でチラシを見てくださった地区外の方から食材が寄せられることもあります。みなさん、もしご家庭で食べきれないものや消費しきれないいただきもの、畑でとれた野菜等がありましたら、ご提供いただけませんか? 消費期限内のものでしたら、あ

りがたくいただきます。ご協力いただける方がいらっしやいましたら、庄内地区公民館(24-1-811)までお気軽にお電話ください。

# コラム

4月の声を聴くと、桜の花と入学式や入社式を重ね合わせ、思い浮かべる方もいるのではないのでしょうか。

松本平のあちらこちらで開花し、淡いピンク色に染め、やがて新緑が目立つ素敵な時期を迎えます。

庄内地区の中にも、弘法山をはじめ千鹿頭池、薄川堤防等いたるところで桜の花を觀賞することが出来ます。

植えられている桜の木は、染井吉野(ソメイヨシノ)と大山桜(オオヤマサクラ)が中心のようですが、その他にもシダレサクラ、山桜、八重桜等があります。

染井吉野は、蕾が赤く満開で白色に近い花びらになり、花が満開になった後から葉が開くため、見栄えが良いので桜の苗木の八割が染井吉野とも言われています。

大山桜は、日本固有種の花びらが比較的大きく、開花時に薄紅色をした花びらと赤みがかつた葉が特徴です。

私的には、大山桜の方が好みをしながら仲間と酒を酌み交わすのが大好きです。